

「源氏物語」を通して知るデジタル化の可能性

セクション2「デジタル源氏物語」の構築と展開

東京大学附属図書館
中村 美里 NAKAMURA Misa

1. はじめに

- 東京大学デジタルアーカイブズ構築事業の実施
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/archives-top>
- 東大内の各部局にある学術資産のデジタル化と公開を推進
- 2017年度～2021年度

東京大学附属図書館

図書館一覧 東京大学OPAC ASK GACoS 日本語 English

ホーム ニュース イベント データベース一覧 コレクション 図書館概要 お問い合わせ

サイト内検索 検索

東京大学デジタルアーカイブズ構築事業 UTokyo Digital Archives Project

ビュー 編集 削除 リビジョン 複製 Translate

東京大学デジタルアーカイブズ構築事業について

- [事業の概要について](#)：事業概要やこれまでの実施事業、各事業のデジタル公開サイト等についてご案内します
- [事業の公募情報](#) 【学内限定サイト】
- [事業関連サービス](#)（ポータルへのデータ搭載、画像公開支援等） 【学内限定サイト】
- [関連リンク](#)
- [お問い合わせ先](#)

■ 『源氏物語』 デジタル化のきっかけ

- 田村隆先生からの書写年代などに関するご助言

- 書庫に普通に配架されていますが・・・
- 『源氏物語大成』では室町時代中期、伊井春樹氏によると室町時代後期ないしは江戸時代初期 とされている。
- 「東京大学本源氏物語」「東大本」と呼ばれている資料。



貴重図書！

- 総合図書館の規定に沿って「貴重図書」に指定される。
- 「東大本」ともよばれる『源氏物語』
→東京大学の学術資産をデジタル化するアーカイブズ事業の対象として最適

- 2018年度事業で『源氏物語』を全頁デジタル化 2019年6月3日公開
→ 田村先生に「資料の解説」を執筆いただく

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/genji-handbook>

東京大学本の該当箇所は以下の通りである。

がくじうにあり

すこし心つきなきや又君なといひけんむかしの人もかくやおかしかりけむ（24ウ）

本文は『源氏物語大成』などが指摘する通り河内本で（「又君」は「文君」の誤写であろう）、それを見せ消ちに
して青表紙本の本文「がくじう（顎州）にあり」で訂した跡が見られる。東大本における河内本や別本の巻々には必
然的に本文訂正などの書き入れが多い。



■ 公開作業を終えて

mottainai

- このデジタル化を通して、田村先生から『源氏物語』のことを学ばせてもらう
→ **これを担当者だけのものにするのは ”もったいない”**
- 画像を公開して終わり・・・
→ **だけでは ”もったいない”**
- せっかくのデジタル公開。デジタルならではの活用方法や、公開サイトが持つべき機能を考えてみたい！
→ 田村先生、中村先生にご相談



私的な勉強会、ゆるやかな活動としてスタート

■ 裏源氏 始動

『源氏物語』公式公開サイトを「表源氏(オモテゲンジ)」、
今回の取組は「**裏源氏 (ウラゲンジ)**」

裏源氏メンバー

- 田村隆先生（東京大学大学院総合文化研究科准教授）
 - 中村覚先生（東京大学史料編纂所助教）
 - 永崎研宣先生（一般財団法人 人文情報学研究所主席研究員）
 - 大向一輝先生（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）
 - 東京大学総合図書館職員 有志（5～7名）
-
- 2019年7月24日に第1回勉強会。以降、1, 2ヵ月おきに開催
 - 『源氏物語』研究について
 - 今後の研究活動に必要なデジタル機能とは？
 - 東京大学本「源氏物語」が活用されるためには？ など



↓
その成果として「**デジタル源氏物語**」を公開

公式サイトのスピンオフ的立ち位置！

2. 「デジタル源氏物語」のデータ構築

■ 校異源氏物語のテキストデータ作成

- ・裏源氏ルール：旧字は新字に修正／踊り字はそのまま入力
- ・「校異」画面を見ながらテキストを整備
(旧字・新字は（可能な限り）一括変換された状態でセット)
- ・「校異」のとおり改行を入れていく

Track media ☆

Protection: Open to all
Expiration: しない

Status: In progress
Mark this revision as complete ☐

保存 キャンセル

Go full screen

Layout

Summarize your changes

B I U G H1 H2 H3 H4 H5 Horizontal rule

あらため給はむにさらにとかあるましようおほやけわたくしきためらるるため
しもありければすまひはて給はて大政大臣になり給ふ御としも六十三にそなり
給世中すさまじきによりかつはごもりぬ給ひしをとりかへしはなやき給へは御
子ともなとしつむやうにものし給へるをみなうかひ給とりわきて宰相中將權中
納言になり給かの四の君の御はらのひめ君十二になり給ふをうちにまいらせむ
とかしつき給かのたかさこうたひし君もかうふりせさせていとおもふさまなり
はらくに御こともいとあまたつきくにおひいてつゝにきわしけるを源
氏のおとゝはうらやみ給大殿はらのわかきみ人よりことにうつくしうて内春宮
の殿上したまふごひめ君のうせ給にしなけきを宮おとゝ又さらにあらためてお
ほしなけくされとおはせぬなこりもたゝこのおとゝの御ひかりによるつもてな
され給てとしこおほししつみつるなこりなきまでさかへ給ふなをむかしに御
心はへかはらず折ふしことにわたり給なとしつゝわか君の御めのとたちさらぬ
人人も年ころのほとまかてちらさりけるはみなさるへきことにふれつゝよすか
つけむことをおほしをきつるにさいはひ人おほくな

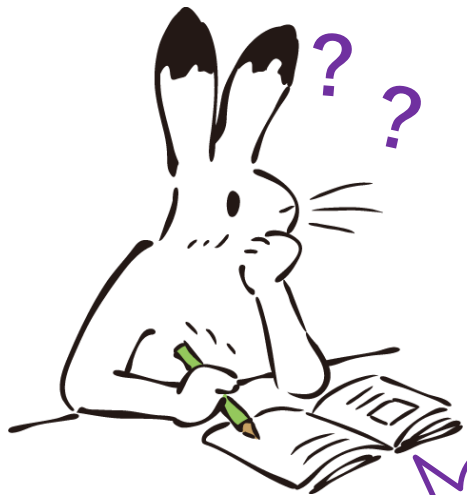
ことまちきこえける人をあはれなるものにおほして
とおほせは中將なかつかきやうの人にはほとほと

「校異」画像

テキスト編集画面

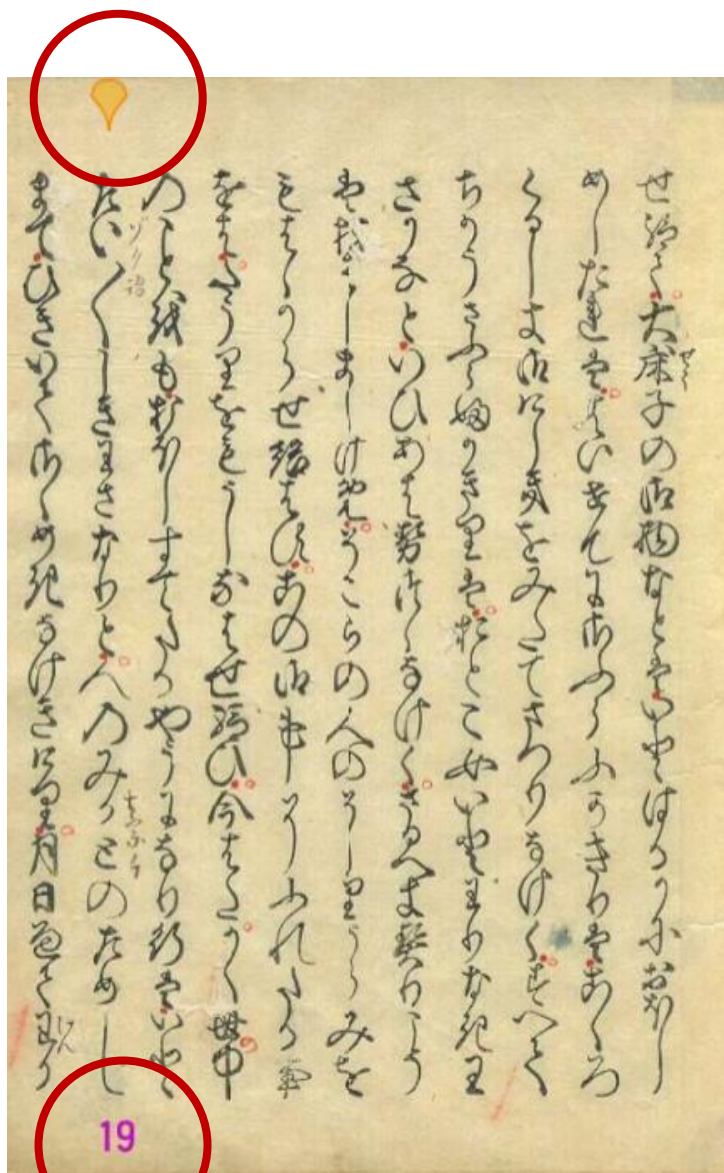
■ 校異源氏物語のテキストデータ作成：感想

- 「TEI/XML」ということを意識することは無く、ただただ”校正作業”として作業を進められた。
- 旧字・新字の事前一括変換のほか、間違いが起こりやすい個所を報告しあい、最後の一括チェック／置換を実施
→ 機械処理によるミス軽減の有り難さ。
- 「デジタル源氏物語」とは別に、テキストデータは「校異源氏物語テキストDB」でも提供されることに。
→ 作業成果が活用される可能性の広がり
→ やりがいの一つになる
- 「校異源氏物語」を読むのは、正直、素人には難しい。
ただこれまでは現代語訳か漫画でしか読んでなかった「源氏物語」を新鮮に読む良い機会に。



ひかる源氏名のみことくしういひけたれたまふとかおほかなるにいとゝかゝるすきことゝもをすゑの世にもきゝつたへてかるひたる名をやなかさむとしのひ給けるかくろへことをさへかたりつたへけむ人のものいひさかなさよさるはいといたく世をはゝかりまめたち給ける．．．（『校異源氏物語』「帚木」冒頭）

■ 公開画像への校異源氏物語の頁数付与【九大本編】



- 九大本に「校異」頁番号を付与していく作業。有り難いことに九大本には画像上に番号が付けられている！
- 作業システムは中村覚先生が構築（CODHのIIF Curation Viewerを活用）。
- 当初は目視で番号を確認し、その位置情報をとっていく作業を実施。
- かつデータ登録を行うと「デジタル源氏物語」公開サイトで使われる銀杏マークがつく作業まで自動で行われるシステム。

→途中からこれらの作業が自動化され、エラーと思われる箇所のためのチェックで済むように。

→非常に大きな省力化・迅速化



ありがとう

■ 公開画像への校異源氏物語の頁数付与【東大本編】



- 九大本と違い、東大本は画像（くずし字）を読み、頁番号の場所を特定する必要がある。
- 「まあ、でも九大本は既にあるし、「校異」の頁番号はほぼ同じ文字数間隔で付いているし、くずし字が読めなくても作業できるだろう！」

• すみません、あまかったです・・・

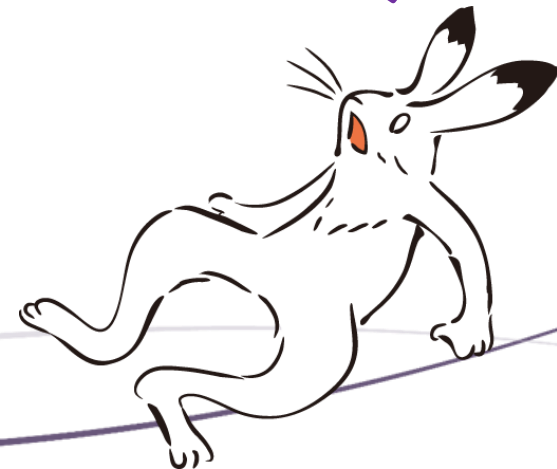
- 場所の特定が難しい
- 正解かどうか自信が持てない
- ものすごく時間がかかる（私の読解レベルでは）

※そこで、先ほどの「②公開画像への校異源氏物語の頁数付与」作業を実施。画像を見ていくのではなく、確認用Googleスプレッドシートでの作業に切り替え → **これならできる！**

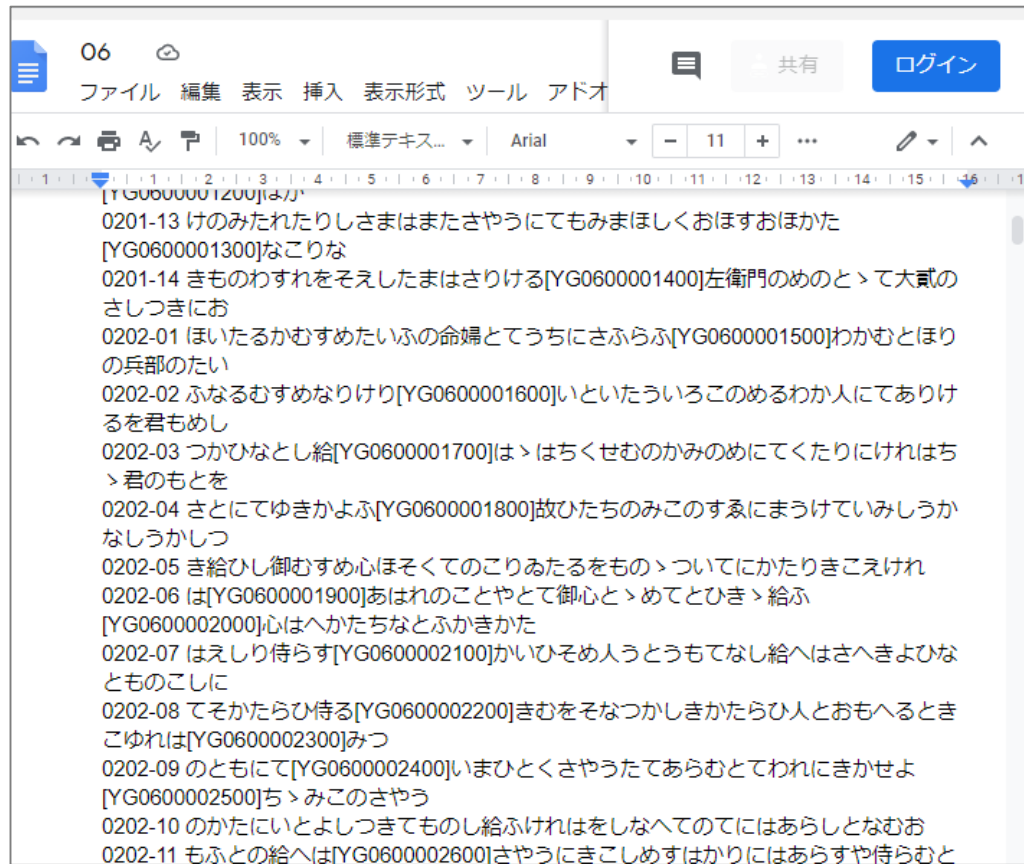
■ 公開画像への校異源氏物語の页数付与：感想

- 「校異」 頁番号のような共通ナンバーを付けることの意義を体感
- 作業過程で、脱文や錯簡に遭遇
- 田村先生による「資料の解説」でも脱文の指摘はあったが、実際に自分で発見するのは（もちろん）初めて
→作業過程で判明したものは「東大本・脱文錯簡リスト」として公開済み
- ROIS-DS人文学オープンデータ共同
利用センター（CODH）が提供する
IIF Curation Viewerの便利さ、
KuroNetくずし字認識サービスの精
度に感嘆

デ、デジタル・
ヒューマニティーズ！



■ 校異源氏物語と現代語訳の対応づけ



YG0600000900 ある場合条件どおりなのがあっても、それは頭に欠陥のあるのか、理智一方の女であって、源氏に対して一度は思い上がった態度に出ても、あまりにわが身知らずのようであるかと思ひ返してはつまらぬ男と結婚をしてしまったりするものもあつたりして、話をかけたままになっている向きも多かった。YG0600001000空蟬が何かのおりおりに思い出されて敬服するに似た気持ちもおこるのであつた。YG0600001100軒端の萩へは今も時々手紙が送られることと思われる。YG0600001200灯影に見た顔のきれいであつたことを思い出しては情人としておいてよい気が源氏にするのである。YG0600001300源氏の君は一度でも関係を作つた女を忘れて捨ててしまうようなことはなかつた。YG0600001400左衛門の乳母^{さえもん めのと}とて、源氏からは大式^{たいに}の乳母の次にいたわられていた女の、一人娘は^{たゆう みようぶ}大輔の命婦^{ひょうぶ}とて御所勤めをしていた。YG0600001500王氏の兵部大輔である人が父であつた。YG0600001600多情な若い女であつたが、源氏も宮中の宿直所^{とのかいどころ}では女房のように使つていた。YG0600001700左衛門の乳母は今では筑前守と結婚して、九州へ行つてしまつたので、父である兵部大輔の家を実家として女官を勤めているのである。YG0600001800常陸の太守であつた親王（兵部大輔はその息である）が年をおとりになつてからお持ちになつた姫君が孤児になつて残つてゐることを何かのついでに命婦が源氏へ話した。YG0600001900気の毒な気がして源氏は詳しくその人のことを尋ねた。YG0600002000「どんな性質^{ごきりょう}でいらつしやるとか御容貌^{ごきよう}のこととか、私はよく知らないのをごさいます。YG0600002100内気なおとなしい方ですから、時々は几帳^{きちょう}越^{きん}し^{きん}くらいのことでお話をいたします。YG0600002200琴^{きん}がいちばんお友だちらしいゅうございます」「それはいいことだよ。YG0600002300琴と詩と酒を三つの友というのだよ。YG060000

- 現在、絶賛作業中
- 左手に校異テキスト、右手に与謝野晶子訳が並び、それらをリンクしていく
- 「源氏物語の世界 再編集版」サイトを参照しながら作業

■ 校異源氏物語と現代語訳の対応づけ：感想

- これもTEI/XMLを意識することなく作業ができる
- 「校異源氏物語」と与謝野晶子訳「源氏物語」を一行ごとに読み込んでいくことで、現代語訳されていない個所の気づきや、訳語の工夫などを垣間見る良い機会に
- 現代語訳とのリンクは「デジタル源氏物語」アクセスユーザ（特に研究者ではないユーザ）にとって非常に便利な機能では？という思い
→作業自体も面白く、モチベーションが高いまま作業できる



3. 作業全般をとおした感想

- 裏源氏勉強会を行うことで、諸本比較の意義、そのための頁番号付与の意味、『源氏物語』以外にも『湖月抄』を追加する効果などを田村先生に分かりやすく教えていただけた
→行っている作業がただの単純作業ではなく意味のあるものだと思うことができ、モチベーション維持に繋がった
- 中村覚先生の細やかな対応により、多くの作業が半自動化された
→単純作業を最小限にしてもらい手間を減らしてもらうことで、ミスの軽減や業務時間外の手の空いたときに作業を進めることができた
- 錯簡や脱文など知識としては知っていたが、それらを実際に目の当たりにでき、大変興味深かった
- 『源氏物語』という作品を改めて捉えなおす機会になった（これまでは高校までの授業で読まれた箇所か、漫画『あさきゆめみし』での理解だったことを認識. . .)

4. 裏源氏に参加して ～デジタル源氏物語爆誕の理由?!～

- 「デジタル源氏物語」の誕生は、田村先生、中村先生、永崎先生、大向先生、図書館スタッフ というバランスの取れたチームで行えたことが大きい。
→ 何か一つでも欠けていたら、ここまでスムーズに進まなかったかもしれない？

改めて、勉強会に参加いただいた田村先生、中村先生、永崎先生、大向先生、図書館メンバーの皆に感謝します

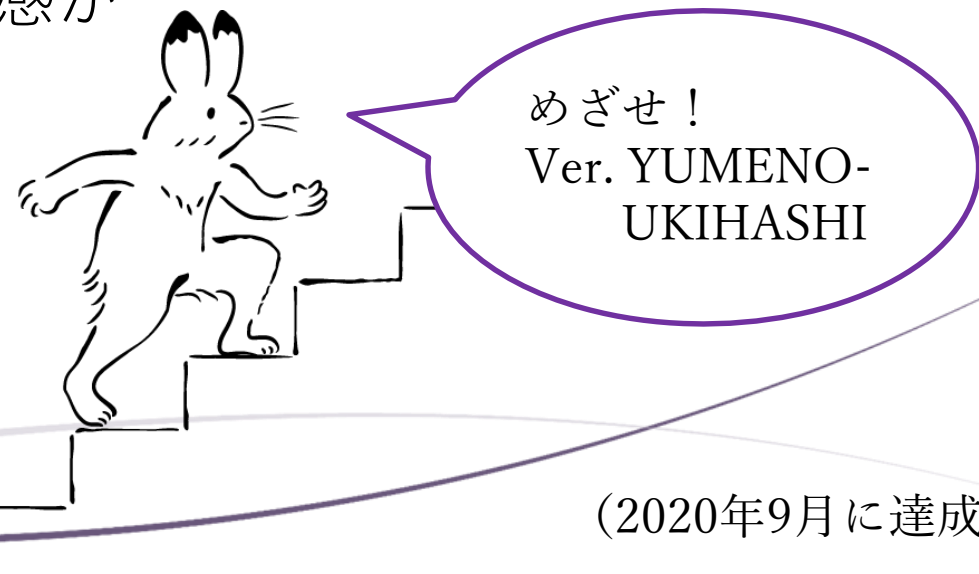
これって、ものすごく贅沢なことかも？



- 今回は図書館スタッフのほか、東大学部生の方が1名、作業に参加してくれました（ボランティアではなく）
→ 学生・院生を巻き込める体制を作ることも大事かもしれない

4. 裏源氏に参加して ～デジタル源氏物語爆誕の理由?!～

- 2020年4月以降はコロナの影響で自宅にいる時間が多く、通常よりも作業時間が確保できた。
→デジタルコンテンツを求める声が後押しになった
- 最初は「Ver. KIRITSUBO」（「桐壺」）を公開
→54帖までは遠い道のり・・・
→東大本と九大本（2種類）のいずれにも「校異源氏物語」の番号が付き、かつテキストデータも公開できた時点で公開・その帖名をバージョン名にする というルールを決定
→段階的な公開により、定期的な達成感が得られた＝モチベーション維持



(2020年9月に達成)

4. 裏源氏に参加して

■ 研究者の皆さま

図書館職員のなかには

- ・地道な作業が好き、データ整備もあまり苦にならない
- ・所蔵している資料のことをもっと知りたい、学びたい
- ・資料のデジタル化や画像公開方法を広く共有したい
- ・著作権や公開ライセンスに関するノウハウが結構ある！

という人が一定数います（多分！）

もし、デジタルアーカイブを利用して研究用プラットフォームを構築したり、デジタルコンテンツを活用した活動を考えられている場合は、**ぜひ図書館職員との協働をご検討ください！**

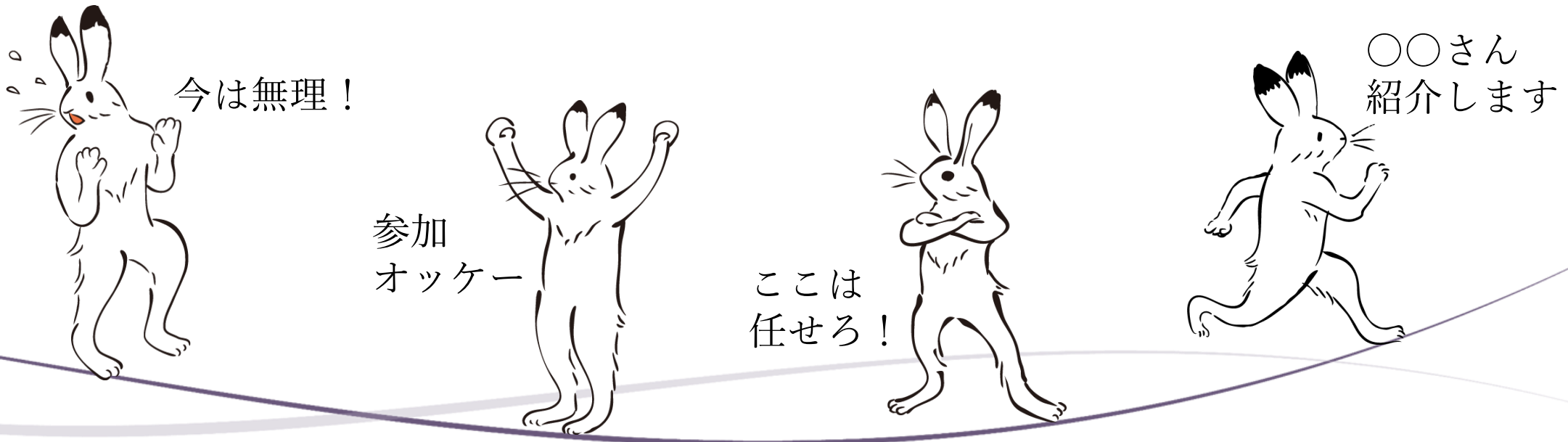
4. 裏源氏に参加して

ただ、当たり前のことですが・・・

- ・ 図書館員でも得手／不得手はあります
- ・ 業務や私生活での多忙さも人それぞれにあります
- ・ みんながボランティアで参加できるわけではありません

→ 相談を受けて誰かに繋ぐことは可能です

→ 「できる人ができるときにできる範囲で」という、
良い意味でゆるやかな体制づくりであれば有り難いです



4. 裏源氏に参加して

■ 図書館職員の皆さま

- 図書館以外の方と協働できそうな機会や、研究者の方からお声がけがあった場合は、まずは前向きに参加してみてください！
（もちろん無理のない範囲で）
- 特に自館所蔵資料に関わる場合は、資料への理解を深められる機会、そして直に研究者（ユーザー）の声を聞くことができる良い機会になるはずです！

